

復興源考 財をえる 下

一九七一年のニクソン・ショックによって、一ドル三十五の金とドルとの兌換システムは放棄され、先進国は固定相場制から変動相場制に移した。ドルは不換紙幣となったが、世界通貨の地位は維持した。

果、慢性的な赤字国日本は、巨額の米国債保有国となった。これが、米国の歴大な国債が

あり、保有されれば利子を取得できる米国債に持ち替える。その結果、米国債は日本の資産ではあるが、容易に売ることができない。橋本龍太郎首相が一九九七年、コロンビア大学で

政府の持つ米国債を日銀に移して日銀券を増刷するが、米国の一定額を上限とする合理的な基準を確立した上で、新たな政府紙幣を発行する（とはできないだろうか。もちろん、現行制度の改正は必要となるが、歴史的に見

問われており、積極的な運用も求められていた。先に述べた方法で生み出された資金を政府の支出として処理することも可能だが、復興事業を担う経営体を作ることこそ道徳的の一つである。

米国債を担保に通貨供給増

奥山忠信

このシステムでは、貿易の黒字国は大量のドルを保有する

世界中で消化されるシステムでもある。近年は、中国が日本を抜いて米国債保有国第一位となっている。FRB（連邦準備制度理事会）の統計から見ると、二〇一一年二月現在の官民合わせた保有額は、

の講演で、米国債を売って金を賣おつと思つたことがあつたと話し、ニューヨーク株式市場の大暴落を招いたことがある。現在の世界通貨システムを維持するためには、米国債は持っているも売ることはできないのである。なぜか、

れば、他国の通貨や証券を担保に通貨を発行する事例は珍しくない。何となく、この方法による場合、国債を増やす米国債も売るわけではなく、強にも迷惑はかからないから、日本は外債準備金について、その差別性が

ることとなるが、通貨としてのドルは財布の中の円と同じで利子を生ままないため、黒字国は、国の富を産出

ないため、黒字国は、国の富を産出

の講演で、米国債を売って金を賣おつと思つたことがあつたと話し、ニューヨーク株式市場の大暴落を招いたことがある。現在の世界通貨システムを維持するためには、米国債は持っているも売ることはできないのである。なぜか、

れば、他国の通貨や証券を担保に通貨を発行する事例は珍しくない。何となく、この方法による場合、国債を増やす米国債も売るわけではなく、強にも迷惑はかからないから、日本は外債準備金について、その差別性が

れば、他国の通貨や証券を担保に通貨を発行する事例は珍しくない。何となく、この方法による場合、国債を増やす米国債も売るわけではなく、強にも迷惑はかからないから、日本は外債準備金について、その差別性が

（おくやま、ただのふー坊玉学園大教授・経済学、仙台市在住）

（おくやま、ただのふー坊玉学園大教授・経済学、仙台市在住）

